

(様式2-1)

※様式2-1については本記入例を参考にして下さい。

事業計画書 (記入例)

(1)開設(増床)等の計画

病院	名称	※ 新規開設の場合は、名称の前に(仮称)をつけて記入して下さい。			
	所在地	※ 新規開設の場合は、開設予定地を記入して下さい。			
開設者	氏名(名称)	※ 開設者が法人の場合は、法人の名称及び代表者名を記入して下さい。			
	住所(所在地)	※ 開設者が法人の場合は、法人の所在地を記入して下さい。			
管理者	氏名	※ 管理者(医師)について記載して記入して下さい。	生年月日	※ 管理者(医師)について記載して記入して下さい。	
	医籍登録番号		医籍登録日		
開設または増床の趣旨		※ 提供しようとする医療の内容及び及び他の医療機関との連携に関する考え方等(地域において担う役割等)について記載して下さい。なお、補足資料、説明資料等がある場合は、併せて添付して下さい。			
開設予定日 (増床後の使用予定日)		※ 新規開設の場合は病院の開設予定年月日を、増床の場合は増床する病床の使用開始予定年月日を記入して下さい。			
診療科目 (うち新設科目)		※ 現に標榜している診療科目をすべて記入し、さらに、増床に伴って新たに設置する診療科目がある場合は()の中に記入して下さい。			
病床数		既存(許可)病床数 (a)	計画(増床)病床数 (b)	計 (a)+(b)	利用率
	一般病床				%
	療養病床				%
	精神病床				%
	感染症病床				%
	結核病床				%
	計				%

※ 病床の種別ごとに、現在の許可病床数(医療法第7条に基づく許可済の病床数=a)、計画病床数(増床病床数=b)及びその合計を記入してください。

また、「利用率」の欄には、直近1年間の1日あたり平均入院患者数を許可病床数で除した病床利用率を小数点以下第1位まで記入して下さい。

(2) 設置(増床)する病床の内訳等

<p>※ 増床する病床の用途(増床する病床数の診療科ごとの内訳、増床により担う機能・役割等)を記載して下さい。 また、特記すべき機能(診療報酬に算定されるもの等)があれば記載して下さい。</p>

(3) 敷地及び建物に関する計画

		既存部分	新規(増床)部分	計
敷地の状況	面積			
	所有状況			
建物の建設計画 (増床の規模等)	建物構造			
	建物面積			
	基本設計		実施設計	
	工事期間			

(4) 資金に関する計画

ア 事業費

(単位: 千円)

建築費	土地購入費	医療機器購入費	その他	計

イ 財源

(単位: 千円)

自己資金	借入金	補助金	その他	計

(5) 医療従事者の確保に関する計画

	現在の人員			確保予定の人員			確保の計画
	常勤	非常勤		常勤	非常勤		
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算	
医師							
看護師							<p>※「確保の計画」は、当該職種の医療従事者確保に係る具体的な計画（方法、進捗状況等）を記載してください。</p>
准看護師							
看護補助者							
薬剤師							
理学療法士							
作業療法士							
言語聴覚士							
(その他)							

※ 各職種ごとに、病院の実情に合わせて記載してください。
 また、非常勤職員については、1週間あたりの勤務時間に応じて常勤人数に換算した数も併記してください。

※ 療養病床又は回復期リハビリテーション病棟を設置する場合は、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士の人数を記載してください。

※ 産科(又は産婦人科)を設置する場合は、助産師の人数を記載してください。